

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9 (8)	〈契約に関する説明と納得について〉 契約時の質疑応答でのご理解に加えよく出る質問等の項目に対し「Q&A集」の作成を試みてはどうか	契約者及び家族に安心かつ友好的な関係下の中での利用者支援が行なっている様、前例を踏まえたQ&A集の作成により理解がより深まるよう資料を交えた説明体制を作る	・これまでの良く出る質問や疑問、細かく説明している内容などをQ&Aにおとした資料を作成する ・契約時もその資料も参考にした説明を行い、より理解が深まる体制を作る	6ヶ月
2	33 (16)	〈重度化や終末期に向けた方針の共有と支援〉 重度化、終末期の支援技術の向上に活かせる体制強化と取組みの継続を期待	支援内容の共有と指針のぶれないケアにつなげるためにもチェック表を作り定期的に振り返りができケアの質を高めていく	・終末ケア、重度化対応に沿ったチェック項目表を作成 ・ケアの取り組み方、方針、検証、検討できる書式を作成し定期チェックを行う事で質の確保と向上を図る	6ヶ月
3	49 (22)	〈日常的な外出支援〉 利用者のADL低下や意向の違いによる個別対応力に工夫が求められる中での「利用者の思いに沿った支援」に期待	生活支援部分が職員支援の割合が多くなっている現状でもあるので、利用者の生活に焦点を当てた生活自立支援を強化すると共に手伝い外出や個々の思いに沿った外出支援を提供していく	生活活動支援の中の買い物、健康保持の散歩なども含めた屋外支援体制の拡充と個別の思いの抽出を行ない、希望に沿った支援を継続して行なう	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。